

令和5年度入学者選抜試験

帰国生入試問題

小論文 (120分)

(保健福祉学部)

注 意

- 1 試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。
- 2 この問題冊子は、5ページあります。
- 3 解答用紙は2枚、下書き用紙は2枚あります。解答用紙には解答欄以外に受験番号欄と氏名欄があるので、監督者の指示に従って、それぞれ正しく記入しなさい。
ただし、得点欄と整理番号欄は記入してはいけません。
なお、解答は最初のひとマスを開けず、改行せずに続けて記入しなさい。
また、行末以外は句読点も1文字分として当てなさい。
- 4 試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁および解答用紙の汚れ等に気付いた場合は、手を挙げて監督者に知らせなさい。
- 5 問題冊子の余白等は適宜利用してよいが、どのページも切り離してはいけません。
- 6 下書き用紙は、下書き等に利用してもよろしい。
- 7 試験終了後、下書き用紙および問題冊子は持ち帰りなさい。

問題 1 次の文章は、『ケアの倫理と共感』という著書の一部です。この文章を読んで、設問 1 および設問 2 に答えなさい。

著作権の観点から、公表していません。

《参考》

(著) マイケル・スロート (訳) 早川正祐、松田一郎
ケアの倫理と共感
株式会社 勁草書房、2021 年
20 頁 10 行目～24 頁 2 行目を引用

著作権の観点から、公表していません。

(出典：マイケル・スロート著 早川正祐・松田一郎訳『ケアの倫理と共感』より抜粋、勁草書房 2021年)

設問1 共感と同情の違いについて、筆者の言葉を参考にしながら、100字以内で説明しなさい。(40点)

設問2 下線部について、筆者のいう共感を獲得するためにどのようなことが必要か、具体的な例を提示して、あなたの考えを300字以内で記述しなさい。(60点)

注：栄養学科における配点は上記×0.25とする。

問題 2 次の文章は、『3000 万語の格差——赤ちゃんの脳をつくる、親と保育者の話しかけ』という著書の一部です。この文章を読んで、設問 1 および設問 2 に答えなさい。

著作権の観点から、公表していません。

《参考》

(著) ダナ・サスキンド (訳) 掛札逸美 (解説) 高山静子
3000 万語の格差 —赤ちゃんの脳をつくる、親と保育者の話しかけ
株式会社 明石書店、2018 年
126 頁 22 行目～129 頁 23 行目を引用

著作権の観点から、公表していません。

[訳] チューン・イン Tune in は、ラジオやテレビの周波数を合わせることでもある。楽器のチューニング tuning (調律) も同じ動詞。

(出典：ダナ・サスキンド著 掛札逸美訳 高山静子解説『3000万語の格差——赤ちゃんの脳をつくる、親と保育者の話しかけ』より抜粋、明石書店 2018年)

※文章の一部を、ゴシック体から明朝体に変更している。

設問 1 乳幼児の言葉環境の豊かさについて、本文の内容を踏まえ、200字以内で説明しなさい。(40点)

設問 2 下線部の例について、「チューン・イン」の観点から、あなたの考えを300字以内で記述しなさい。(60点)

注：栄養学科における配点は上記×0.25とする。